



修了生 1000名突破記念

CSOラーニング制度

OB・OG会 記念誌

みんな、もう一度木を植えてみないか？



2018.2.3

Civil
Society
Organization



損保ジャパン日本興亜環境財団



Civil Society Organization

CONTENTS

OB・OG会 開催に当たって	1
専務理事あいさつ	2
「OB・OG会」の今 - CSOラーニングと私 -	3
グループワークショップ「CSOラーニングと私」	8
グループワークショップ「これまでの自分」「これからの自分」	10
懇親会	12
財団OB・OGからのメッセージ	13
各地の同窓会	16
OB・OG会 幹事からのメッセージ	18
OB・OGアンケート分析	19
HISTORY - CSOラーニング制度のあゆみ -	20
CSOラーニング制度概要	21

OB・OG会 開催に当たって

CSOラーニング制度では2017年度の参加学生のプログラム修了により、累計修了生が1000名を突破しました。そこで2018年2月3日(土)、環境財団はこれを記念して「CSOラーニングOB・OG会 -みんな、もう一度木を植えてみないか-」を開催。会場には全国から総勢150名を超える修了生らが集合しました。



OB・OG会 次第

修了生 1000名突破記念

CSOラーニング制度 OB・OG会「みんな、もう一度木を植えてみないか？」

日 時	2018年2月3日(土)	
場 所	東京都新宿区西新宿 1-26-1 損害保険ジャパン日本興亜(株) 本社ビル	
プログラム	テーマ 「みんな、もう一度木を植えてみないか？」	
第1部	14:00	開会・あいさつ 環境財団 出口専務理事
	14:20	OB・OGの近況報告「OB・OGの今」- CSOラーニングと私 - ① 小松 洋一さん(2003年度) ② 栗原 咲子さん(2005年度) ③ 藤井 綾美さん(2009年度) ④ 垂水 恵美子さん(2010年度)・加藤 超大さん(2011年度)
	15:20	同期懇親タイム(横のつながり交流会)
	16:00	グループワークショップ「CSOラーニングと私」 - 全員参加の自己紹介ワークショップ - (年度を越えた縦のつながり交流会)
第2部	17:00	集合写真撮影
	17:30	懇親会
	18:00	かつての財団職員によるトーク 富沢さん・山中さん・更井さん・芦沢さん
	19:00	中締め



専務理事あいさつ

OB・OG会に対する 財団の想い

損保ジャパン日本興亜環境財団
専務理事 出口 裕康



今年度でCSOラーニングの修了生が1000人を超えます。我々は「木を植える人を育てたい」という想いでCSOラーニング制度を運営してきました。

この本日のOB・OG会が、みなさんがもう一度「木を植える」ことを考えて、改めて何か行動するきっかけになればと考えています。

また今回を機に500名以上の修了生の連絡先が再確認でき、多くのみなさんと「つながる」ことができました。財団としては、修了生のみなさんの参考となる情報配信などを通じて、この「つながり」がずっと継続できる体制づくりを検討していく予定です。

いま財団は、関東・東北地域で毎年実施している修了生の同窓会を支援しています。他の地区でも、このような年次を超えた縦のつながりが深まる会があれば、と思っていますので、同窓会がない地域でも今後、何か実施したいという声があれば、ぜひ財団に声をかけて下さい。後方支援をしたいと思っています。

理想は、毎年各地区でOB・OGの同窓会が実施され、4、5年に一度、このような全国規模の会を実施することです。そのようなかたちでCSOラーニング制度のメンバーの「つながり」をずっと続けていければと思っています。

そして将来は、今日来ているみなさんの子ども達が大学生になって、また「ラーニング制度に参加している」ということになれば、それはうれしい限りです。



では、本日のこの会を
思いっきり楽しんでください！



「OB・OGの今」-csoラーニングと私-

現在さまざまな分野で活躍されている4組5人のOB・OGが、「CSO ラーニングと私」をテーマに、CSO ラーニングから得たもの、その後の活動内容を報告しました。

ファシリテーター
中村 雄洋さん(2003年度)



「まるまど」(大三島・パン屋)店主

小松 洋一さん 2003年度 公益財団法人 日本自然保護協会

瀬戸内海で5番目に大きな島、大三島(愛媛県今治市)に東京から2015年4月に家族3人(妻、子3歳)で移住しました。

2018年4月1日より、大三島でパン屋「まるまど」を開業。島の特産品である蜜柑から野生の酵母を培養して、粉をしっかりと発酵させた健康的なパンを焼いています。

P.4



三井化学株式会社 / NPO法人くるめ日曜市の会

栗原 咲子さん(旧姓 田中) 2005年度 NPO法人 新宿環境活動ネット

九州在住、会社員、母、地域活動NPO理事の3つの役割を持ち、パラレルキャリアを実現していきたいひとりです。

人生100年時代を目の前に、その人がもつ資源(能力、経験、価値観)が必要となる所で生かせる社会、自分らしさが尊重される社会を作りたい、と考えています。

P.5



株式会社アダストリア 経営企画部 広報 CSR

藤井 綾美さん 2009年度 公益財団法人 オイスカ

衣料品や雑貨等の企画・製造・販売を行っている株式会社アダストリアでCSRと広報を担当しています。

社会貢献活動を行うだけでなく、事業活動の中にCSRの要素を組み込むことを意識し、部署横断で取り組みを行っています。

P.6



公益社団法人 日本環境教育フォーラム (JEEF)

事業部 **垂水 恵美子さん** 2010年度 公益社団法人 日本環境教育フォーラム

企業との協働や、環境教育の実践者・研究者・企業の環境事業担当者・学生などが集う「清里ミーティング」の事業を担当し、人と人を「つなぐ」仕事をしています。彼らの活動の意義を、多くの方に知って頂きたいと思っています。



公益社団法人 日本環境教育フォーラム (JEEF)

国際事業部 **加藤 超大さん** 2011年度 公益社団法人 日本環境教育フォーラム

大学卒業後に青年海外協力隊の一員として中東・ヨルダンへの派遣を経て、2014年よりJEEFへ。主に、カンボジア、インドネシア、バングラデシュ、中国、韓国の国際環境協力に取り組んでいます。

P.7

OB・OGの近況報告はWEBサイトでも詳しくご紹介しています。ぜひご覧ください。



「OB・OGの今」-CSOラーニングと私-

人とのつながりを生かし、
新たなものを創造する。

「まるまど」(大三島・パン屋)店主
小松 洋一さん

2003年度 公益財団法人 日本自然保護協会

パン屋
まるまど



振り返ってみると、人生の節目節目でCSOラーニング制度を通じて出会った仲間や職員みなさまに助けていただきました。

私は今、愛媛県の今治市と広島県の尾道市を結ぶ、しまなみ海道のちょうど真ん中に位置する愛媛県大三島で生活しています。この島に移住したのは2015年4月。移住に至る過程でも、CSOで出会った仲間に大きく背中を押してもらいました。子育てのために移住を考えていた時、地域おこし協力隊として活躍していた友人に話を聞き、自分たちも地域おこし協力隊の制度を使って移住しようと決意したのです。

「つながりから物を生み出す」楽しさや、やりがいを学んだ原体験は、私のCSOラーニング時代にあります。CSOラーニングでは一大学、学部には所属しているだけでは決して出会うことできない、ポジティブで博識で、行動力のある仲間たちに出会いました。そして、彼らと一つの議論をして答えを導き出したり、イベントをして成果物を作ったりするなかで、自分一人の力では到底実現できないようなことも、仲間と力を合わせて実現する経験をしました。それが私の学生生活を豊かにして、人生を楽しくしてくれたのです。移住や留学など、新しい経験に自分が踏み出す時に「新しい環境で出会う人たちと自分が作り出すものは、今、自分が一人でもできるものよりもきっと面白いに違いない」と思えるのも、この体験があったからこそだと思っています。



移住当初からブログを書いています
(パートナーが更新しています)

- まるまど日記
<http://marumado.blogspot.jp>
- まるまど Facebook
<https://www.facebook.com/komatsuseipan>

「OB・OGの今」-csoラーニングと私-

「みんなちがってみんないい」
社会を目指して。

三井化学株式会社 / NPO法人 くるめ日曜市の会
栗原 咲子さん (旧姓 田中)

2005年度 NPO法人 新宿環境活動ネット



私は今、会社員として10年目、母として5年目、NPO理事として2年目。三足のわらじを履いた生活をしています。

ラーニング生として新宿環境活動ネットでの活動を通して、地域のなかで“協働”を仕掛けたり促すという体験をしました。私は、家族もまわりもみんな会社員だったので、大学2年生でインターンシップ制度に参加するまで、会社員以外のことについてあまり知りませんでした。しかしこの制度に参加した経験のおかげで、異なるセクターの人が、同じ土俵に立って、同じ目標に向かって一生懸命汗を流すことをこの時肌で感じて、そのことの楽しさや意義というのをすごく感じました。「協働」って、今やあちこちで使われていますし、私がまさに今やっている市民活動でもそうですが、いろんな人たちがお互いに尊重しあったり、各自が持っているものをうまく使いながら目標を達成することだと思います。まさにそのことをCSOラーニング制度を通じていただきました。そして、学生の私自身にも何かできることはある、行動すれば社会は変えられということに気づかせてもらったのです。

私が大事にしているのは「みんな違ってみんないい」ということです。一人一人持っているスキルも経験も人脈も様々ですが、それらが必要とされる場所で生かされる社会を作りたいと思っています。そのためにも、仕事以外のこともできるような、柔軟な働き方がもっと盛んになったらいいなと考えています。また、市民活動が企業などからの支援や理解を得るための評価方法にも興味を持ったりして「まだまだ私できるぞ!」と思っています。



「OB・OGの今」 - CSOラーニングと私 -

企業の強みを生かし、 社会を変える。

株式会社アダストリア 経営企画部 広報 CSR

藤井 綾美さん

2009年度 公益財団法人 オイスカ



私は「GLOBAL WORK」「niko and...」「LOWRYS FARM」などを含む21のライフスタイルブランドを展開する株式会社アダストリアに新卒で入社し、店舗での経験を4年ほど経て、現在は経営企画部で広報とCSRを担当しています。そして自らの専門性を高めるため、立教の大学院で「企業におけるCSR人材の育成」をテーマに研究し、2017年3月に博士課程前期を修了しました。

また、企業で働きつつ、社会を変えるために活動したいと思い、今年から児童労働を改善するために活動しているNPO ACEでプロボノをスタートしました。インドのコットンの畑での児童労働を無くすための活動は仕事との親和性もあるので、何か社会を変えるための活動をしていきたいと考えています。

私がCSOラーニング制度で学んだことは、社会課題を解決するためには、企業がより、社会解決に積極的に働きかける必要があるということです。私がCSOラーニングに参加した時は大学3年生で、就職にすごく迷っていました。NPOと企業、どちらに就職するのかと迷っている時に、NPOでのインターンを経験し、現場の活動もちろん重要だけれども、企業のリソースがもっと社会課題の解決に寄与していくんじゃないかということを感じたのです。これをきっかけに、私は企業でCSR担当として働こうと決めました。そして企業だけでなく、行政を含めてマルチセクターが協働して何かをやっていくことの重要性も学ぶことができました。CSOラーニングに行くことで、そういうことを肌で感じる事ができたので、非常にいい機会だったなと思っています。

担当している主な業務

- CSR 調達の推進
- ダイバーシティ推進プロジェクトの運営
- 社会貢献活動の企画・運営
- CSR レポートやニュースリリースの作成、コーポレートサイトの更新などの社内外広報



A D A S T R I A



インターンから職員へ、 環境教育で新しい社会の ビジョンを描く。

公益社団法人 日本環境教育フォーラム (JEEF)

事業部 垂水 恵美子さん

2010年度 公益社団法人 日本環境教育フォーラム

国際事業部 加藤 超大さん

2011年度 公益社団法人 日本環境教育フォーラム



垂水 私たちは、CSOラーニング制度時代に日本環境教育フォーラム (JEEF) でインターンをし、現在は職員として働いています。CSO ラーニング制度に応募するとき、私は自然学校などの現場で子どもたちに自然の楽しさや大切さを伝える仕事がしたいと思っていました。ただ、どのように就職したらいいのかわからず、JEEFならその情報がきつと集まるなと思い、インターンを決めました。しかし実際にやってみると、現場の仕事もちろん楽しいのだけれども、それ以上に現場を支えるJEEFの仕事に大変やりがいを感じました。これはCSOラーニング制度を経験したからこそわかったことです。

環境教育のフィールドには熱い想いを持った面白い人たちが大勢いるので、ぜひ多くの人に出会ってほしいと思っています。私も、ラーニング生に「誇りを持って仕事をする社会人」だと感じてもらえるよう、活動していきたいです。

加藤 CSOラーニング制度には大学4年生の時に参加しました。大学卒業後、青年海外協力隊の一員としてヨルダンの方に2年間赴任し、2014年7月から日本環境教育フォーラムに就職しました。日本環境教育フォーラムに就職した理由は「環境教育で世界を変えたい」「環境教育なら社会を変えられる」という強い思いがあったから。私は、社会の基盤は環境だと考えているので、環境を大切にすることをみんなが持てば、戦争とか何か変なことは起きないだろうという思いを抱いていました。学生の頃から「環境教育をやっている人ってキラキラしている大人が多いな」と感じていて、僕もそういう大人に仲間入りしたいと思ったし、一人では難しくともそういう人たちが協力すれば様々なことが可能になるのではないかと思ったのです。

今後は、日本の環境教育を世界に広めていきたいと思っています。また、CSOラーニングの修了生の人とも一緒に活動していきたいです。CSOのネットワークはすごく、研修で会ったり、青年海外協力隊の時が一緒だったり、仕事を始めてから様々な場所でCSOの卒業生と会うことがあります。今回のテーマが「もう一度、木を植えてみないか」ということなので、ぜひみなさんと一緒に仕事や活動をしていきたいです。



グループワークショップ「CSO ラーニングと私」

OB・OG 代表 5 名の活動報告を受けて、次は各参加者が、自身の CSO ラーニングとその後の人生を振り返り、今後の活動に活かすことを目指すためワークショップを開催しました。

修了生の飯田貴也さん（2012 年度）、松井絵里子さん（2006 年度）のファシリテーションのもと、様々な年次の修了生がグループで、CSO ラーニングから何を学んだか、これからの人生にどう活かしていきたいかを熱く語り合いました。



ファシリテーターの飯田さんと松井さん



長く付き合える友達を得た。
ラーニングを修了して数年たった今でも、
当時の仲間とプライベートで仲良く
つながっている。

ラーニング生同士で結婚、
人生の伴侶を見つけた！

Q. ②
CSOラーニングから
どんな影響を受けた？

グル
ディスカ
中の主な



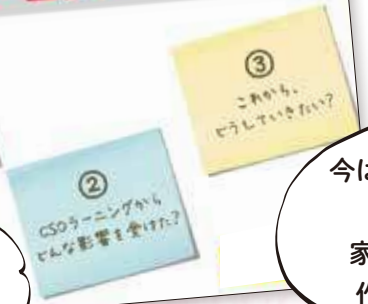
「飛び込んでみると広がる」を
実感する成功体験を得ることができた。
新しいことにもまずやってみよう、
という判断ができるようになった。

ラーニング生同士で
COP10に参加し、
大学の領域を超えた
関係性を作ることができた。





「CSO ラーニング」と「私」



今は蒔いた種を育てているフェーズ。
子供が生まれたこともあり、
家族・子供が過ごしやすい地域を
作っていく活動に取り組みたい。

Q. ③
これから
どうしていきたい？

CSO で学んだことを
社会に還元していきたい。
地元の地区でイベントを開催するなどして
影響力のある人間になっていきたい。

仕事の中で自分なりのテーマを
見つけていきたい。
日常生活でも自分の手でやれることを
着実に増やしていきたい。



グループ
ディスカッション
コメント

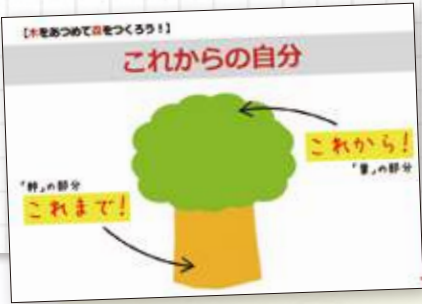


財団 OB も加わって
ディスカッション

Group Workshop

グループワークショップ「これまでの自分」「これからの自分」

「これまでの自分」、「これからの自分」をシートに記入し、模造紙で展示しました。



社会 会社
 学い、行動に繋がる
 CSOのワークショップを
 1年繰り返す!!

学生として
 学ぶべき
 学ばせられる
 機会!!

「つなぐ」
 「動く」
 知識・技能・態度を身に付け、
 社会に貢献できる人材を育てる。
 実践を通して学び、成長する。

地域・島
 モ・コト
 暮らし、生き方
 出会う



日本型の環境教育を
 世界に広める!
 例えば
 バングラデシュで自然学校

環境・健康・平等を
 考慮した“カフェ”を開業
 (より良い情報を伝える
 場をつくりたい)

参加者が
 「これから」



長野県松川町にて、
 松川青年の家をリニューアルし、
 自然体験のできる
 宿泊施設をオープンする。
 町民参加の場づくりや
 幸せな社会をつくる場づくりを
 ファシリテーションを活かして行う!



地域、活動、関係
 新しいワークスタイルと
 見つけた、もともと大変
 した毎日を楽しむ

毎日は、
 やってやる...

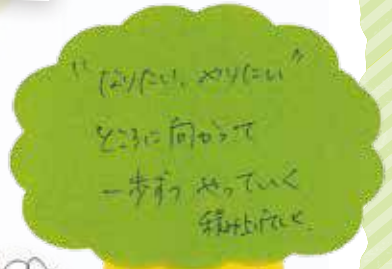


今、解決できるのは人だけ
 いろいろな社会の立場
 から環境問題を
 見つめられる視点を持つ

環境
 &
 野生動物を
 守りたい



グループの議論や自らの目標を発表する参加者たち

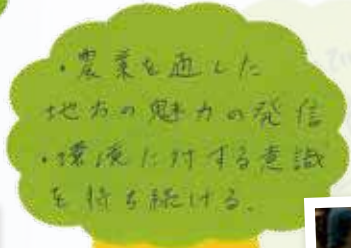


「(2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (788) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (798) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (818) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (838) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (848) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (858) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (868) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (878) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (888) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (898) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (908) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (918) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (928) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (938) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (948) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (958) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (968) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (978) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (988) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (998) (999) (1000)

「何事も、やる」
(環境に貢献する)



突破を
目指す
王座へ
自分の
経験・成長



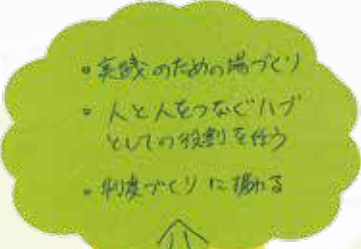
・農業を通じた
地方の魅力の発信
・環境に対する意識
を持ち続ける。

ナレッジ保全
目的環境教育
が、はじりイベント



・製品を通じて
水資源保護を！
・分業・協業による
経済学習を！

・環境教育
・ネットワーク
・浅く広く



・実践のための場づくり
・人と人をつなぐハブ
としての役割を志向
・制度づくりに参加

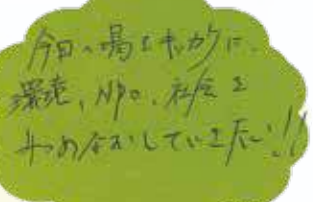
①
持続可能な
社会づくり
(人と自然の共生)
各人の自己成長



「これまでの自分」
(一部)

来年4月から環境保全団体に
就職します!! 動物から範囲を広げ、
森・海・川・山・里山
...広い視野を持つ!!!

自分の生まれ育った
群馬県で
野外教育の面白さを
伝えて地域貢献していく!



今の場では、
発表、NPO、社会と
つながりを作りたい!!



地域が元気になると
人が集まる
「土場」をつくる!!

農食共創



懇親会

会場を移して懇親会を開催しました。

修了生の市川峻平さん(2009年度)のファシリテーションにより、歴代の財団職員から当時の印象に残った学生や思い出などを披露。修了生からも質問や昔話などが次々出されて大いに盛り上がりました。懇親会では同期だけでなく、年次や地域を超えたOB・OGの懇親・交流を深めることができました。

ご挨拶

公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEFF)
理事・事務局長 瀬尾 隆史
損保ジャパン日本興亜環境財団 初代 専務理事



1999年に財団が創設され、2000年にCSOラーニング制度は誕生しました。私は損害保険会社で通算39年間、仕事をやってきましたが、CSOラーニング制度を作った事が私の会社人生のなかで一番良い仕事だったかも知れないと思っています。JEEFに移ってからのことですが、あるCSOに行った時に、何かのきっかけで「僕がCSOラーニング制度を作った」という話をしたら、その場にいたCSOラーニングの卒業生であるそのCSOの職員が、「では今の私があるのは瀬尾さんのおかげですね」と言ってくれました。その一言を聞いて、非常に嬉しかったと同時に、みなさんの

人生に関わるような重要な仕事をしていただけたのだと感じ、背筋がピツとしたのを記憶しています。

今日のみなさんの話を聞き、当初、財団の事務局として考えていた期待を遥かに上回る行動を、いまみなさんがされていると強く感じました。ここには150人あまりの修了生がいますが、みなさんの背後には1000人いるわけです。確実に世の中は変わっていくという実感を持ちました。今日のこの機会をきっかけにさらに成長し、自分が変わるだけでなく、周りの人たちに影響を与え続けるような、そういう人に各自が成長して欲しいと願っています。そして、多様な社会的課題の解決に向けた活動が日本のみならず世界において活発になるよう、ぜひみなさんに行動していただきたいと思います。



財団OB・OGからのメッセージ

ファシリテーター

市川 峻平 (2009年度)

財団職員OB・OG

富沢 泰夫 (元)事務局長(2002年-2011年)

更井 徳子 (元)事務局長(2011年-2015年)

山中 千花 (元)担当職員(2000年-2006年)

芦沢 壮一 (元)担当職員(2007年-2016年)



市川：CSO ラーニングで印象に残ったことなど、エピソードを教えてください。



富沢：印象に残っているのが、2003年度に学生主体で開催した座談会「CSOと学生が考える市民社会」を準備している時の事です。ラーニングの修了にあたって学生がCSOの方々に恩返しをしたいということで、ヒアリングやアンケートなどを事前に行い座談会を開催することになりました。当初、タイトルが「CSOに物申す」だったのですが、少し挑戦的じゃないかということで「学生とCSOと一緒に考える市民社会」ということになりました。事前準備のミーティングで議論が白熱してしまい、夜10時に本社の電気が消えてもまだ話が続くわけです。特別に社内申請を出して電気を延長したのですが、故・北村専務理事自身も加わって議論が尽きません。夜中の12時前に一旦終わってからも、場所を変えて喫茶店に行ってみんなで喧々譁々と話をして、結局、北村さんが家に帰れなくなってホテルに泊まったという思い出があります。



市川：それは大変だったでしょう。でも、学生が財団のみなさんと夜中まで議論をするというのは素晴らしいですね。では更井さん、お願いします。

更井：2011年度、私にとって初めての「修了式」は非常に印象的でした。代表のみなさんが上手に発表した後に、財団の理事の方が発表したみなさんの前に出てきて、「自分の言葉になっていない」「本気で考えているのか」とみなさんに詰め寄って迫りました。私は司会者として「どうしようか・・・」と結構ドキドキでしたが、みなさんも、即興で、みなさんが感じたことを自分の言葉で立派に述べました。



それで、先生は納得をして席に戻りましたが、先生が伝えようとしたこと、学生に対して何を期待しているのかというのを、私自身改めて考える良い機会となりました。発表した畠山さん、当時の事を少し話してください。

畠山：「きみは本当にそう思うか？」と問い詰められドキドキしながらも聞き直って、その時に感じていたことを飾らずに話したことを覚えています。



市川：続いて初代事務局メンバーだった山中さん、お願いします。

山中：今日、改めて感じた事です。たった8ヶ月間の制度なのに、こうして全国から150名を超える修了生が、年次を超え全国から来ていることは凄いことだということです。みなさん一人ひとりの思い出や気持ちがこういった場を実現させていると思いますし、この制度に参加したみなさんの熱意を改めて感じています。



市川：では、芦沢さん、お願いします。

芦沢：記憶が一番直近なので、CSOラーニング制度、個人的にインパクトが大きかった出来事、ベスト5を話します。

BEST 5!!



NEXT PAGE



第5位は「愛知名古屋のCOP10本会議にラーニング生有志が自力でエントリーして参加したこと」。国連の生物多様性の会議に行った人、当時のことをぜひ喋ってください。

石川：学生10名くらいで参加しました。「COP10に行きたい」と思って、普通の人は参加できないので、損保ジャパンに推してもらい、申請を出して参加できました。



芦沢：第4位は「『がまっぷ』配布」です。『がまっぷ』は宮城のラーニング生が東日本大震災の復興支援策として、塩竈市の観光地を歩いて取材し地図にしたものです。首都圏の方にぜひ現地に行って欲しいということで、3月の修了式の直後に新宿で配布会を実施しました。たくさんの方に受け取っていただいたのが印象に残っています。



がまっぷ

続いて第3位は、当時、損保ジャパンのCMに出ていた「上戸彩」さんからCSO生あてに激励ビデオメッセージをいただいたことです。

市川：2011年～12年のメンバーのようです。ラッキーなメンバーです！

芦沢：第2位は毎年、修了式を終えると記念撮影をしたり色紙をいただいたりしたことです。何もなかった年代もありましたが（笑）、毎年のようにいただいて本当に嬉しかったです。

そして、第1位「ラーニング修了後のネットワークがとにかく面白いこと！」。いまファシリテーターをやっている市川峻平さんをはじめ多くの方がいろんな形で卒業生同士つながっています。そしてよく聞くのが、みなさんが入社したら、そこにCSOの先輩がいたという話です。環境省にも多分4、5人いると思います。1000人もいるとそういうことも起きるのですね。

市川：それでは次は、みなさんから自由にエピソードを頂きたいと思います。



唐木：では子育て世代を代表して。私がCSOラーニング制度に関わったのは、2005年の愛知万博の時に山中さんと知り合ったのがきっかけでした。宿泊場所が無くて困っているということだったので、うちに泊まってくださいと申し出て、山中さんが名古屋市の私のワンルームに来てくださって。そこで、山中さんが「生まれた時代や場所によっては、自らの意志で何一つ選ぶことができない。でもいまの私達には沢山の選択肢がある。世界的にみたらそのこと自体が恵まれていて素晴らしい」ということを教えてくれて…今でも鮮明に覚えています。その1年後、私はCSOラーニング生としてオイスカでインターンをする事になりました。運命の出会いでした。とっても感謝しています。



山中：ありがとうございます。藤が丘駅で長蛇の列ができていて、これだと今から帰京できないと思っていたら、前に並んでいた唐木さんが「うちに泊まっていきますか？」と。迷ったんですが、女の子だし「泊めてもらっていいかな」と。部屋に行ったら「大学生なのに本がないね」なんて失礼な話をしたのを覚えています。



市川：掘り出したらそんな話が出てきますね！

内村：2012年度愛知地区の内村です。更井さんのことです。2012年度の愛知地区は10人で、とても仲のいいメンバーでしたが、その分少しルーズで、そこを更井さんにピシッと締めてもらい、定例会は毎回充実したものになりました。定例会で「ファシリテーション」を覚えてもらい、今の自分で活用していますし、今後にも活かしていけると思っています。



ありがとうございました。
2012年度の愛知地区は、院生だった男子2人と明るい女子の非常にいいチームで、すごく印象に残っています。
by 更井



市川：では最後にみなさんに向けた一言メッセージをお願いします。



富沢：私の会社生活 38 年のなかで 9 年近く、みなさんと一緒に仕事ができ一生の思い出になりました。CSO はずっと続くので、またみなさんに会えることを楽しみにしています。

山中：当時、学生のみなさんと接することによって、真剣に学び、愚直に向き合う姿勢の大切さを再認識しましたが、今日からまた気持ちを新たにしていきたいと思います。

更井：久しぶりにみなさんにお会いできて、大変嬉しかったです。みなさんと一緒に、私もまだまだ成長しようと、今日決意を新たにしました次第です。

芦沢：みなさんに一個だけ言葉を持って来ました。伝えたいキーワードは「越境的学習」です。最近、キャリア教育で話題になっているテーマなのですが、普段と違うところに身を置くと学びが深くなるということです。法政大学の石山 恒貴教授の著書から一節を引用しますが「大学生がインターンシップをすると、視点の拡大や自身のスキルや思考の傾向に関する新しい気づき、つまり自分が何をやりたいか、何を伸ばしたいかということがわかる。そしてその後のパフォーマンスも上がる」という研究結果があります。社会人となったこれからもぜひ、越境的学習を継続して欲しいと思います。

市川：ありがとうございました。

(第 2 部終了)



【番外編】
最も素敵だと思うこと。

今日、こんなにもたくさんの CSO
ラーニング修了生のみんなと
再び出会えたこと！





各地の同窓会

各地で独自に同窓会を開催し、修了生の「つながり」を継続しています。
このつながりがずっと続くために環境財団も陰ながら応援します。
今後の愛知地区の発足を楽しみにしています！

○ アルムニ

KANTO

財団の元専務理事である故北村氏の呼びかけで、2004年6月に発足。年1回(以上)開催しています。
現在までの開催実績は17回。CSOラーニング生という共通項を持ち、かつ多様なバックグラウンド
を持った、様々な年代のOB・OGたちが集う会です。



同窓会コンセプト

- ① 目的は、きっかけ作り。
- ② 細く長く〜継続は力なり。
- ③ 蓄積と共有

H P
連絡先

FB <https://www.facebook.com/CSO-Learning-Alumni-229223657132704/>
BLOG <http://csolearningalumni.blogspot.jp/?m=1>

○ アルムニ関西

KANSAI

関西地域でも同窓会を開催！アルムニ関西として、2016年12月に発足。仕事や子育ての関係で、
関東から関西地域に移住した人が中心となり運営を実施しています。

第1回目の同窓会は、OB・OGによるワークショップやトークショーを実施、地元の名産などを
持ち寄って食事をしたりと、4名の子どもを含め20名以上の参加者を得て、アットホームな会となり
ました。今後も、年に1回程度の頻度で関西地域の同窓会を開催していければと考えています。



○ かつぱん田

IBARAKI

「かつぱん田」とは、CSO ラーニング制度受入先の一つである茨城県牛久市にあるアサザ基金と、CSO ラーニング生、およびOB・OG が協働で運営している耕作放棄地だった田んぼです。毎年無農薬・無化学肥料でお米（もち米）を育てており、収穫したもち米はせんべいに加工して地域の循環型社会づくりに関わるプロジェクトです。

田起こし、田植え、草取り、稲刈り、収穫祭など折々の農作業をイベント形式で開催し、CSOラーニングの修了生が集う場となっています。



連絡先

MAIL tanbo.join@gmail.com

2018 年度管理人：永田・和田・高田・工藤

○ いもっしゆく

MIYAGI

2009 年度～宮城地区の有志を中心に活動しています。「いもっしゆく」の由来は、「いも煮」からきています。「いも煮」とは、東北地方で行われる季節行事で、秋に河川敷などの野外に集まり、サトイモを使った鍋料理を作って食べる行事です。

このイベントを通して、東北について知ってもらい、さらに地区、年度を超えた CSOラーニング生同士の交流の場として、毎年、宮城地区主催で行っています。



OB・OG会 幹事からのメッセージ

今回のOB・OG会には6人の修了生・財団OBが、企画から当日の運営まで幹事として参加してくれました。6人の幹事からCSOラーニングについて思うことをコメントしてもらいました。

中村 雄洋さん (2003年度)

このOB・OG会に参加したメンバーは、就職など人生の岐路において、CSOラーニング制度を経験し影響を受けながら様々な選択をしてきたのだと思います。今回OB・OGに参画してそうした方々のこれまでの立ち位置や考え、そしてこれからどうして行くかといったことに触れることができたことは、自分自身を振り返るうえでもとても貴重で、私自身の成長にもつながるものだと思えました。



松井 絵里子さん (2006年度)

CSOラーニング参加中には世の中の課題に正面から向き合う働く大人をたくさん見て、強く影響を受けました。また卒業後もOB・OGのつながりの中で同輩から刺激を受け続けており、自分の中で「生き方のサンプル」の幅を広げてもらっていると感じます。今後も修了生のつながりを維持し、生かせるように関わっていきたくと考えています。



市川 峻平さん (2009年度)

CSOラーニング制度がとにかく継続して欲しいと思います。そして修了生が各地で行っている個々の活動やフィールドを何らかの形で繋げられることが理想です。私自身も、修了生による社会人・ビジネスに視点を置いたイベント(異業種交流会など)を開催できたらと考えています。



飯田 貴也さん (2012年度)

現在、CSOラーニング制度を通じてインターンさせていただいたNPO法人新宿環境活動ネットで、スタッフとして働いています。自分にとってCSOラーニング制度は環境分野で働く“きっかけ”となりました。また、環境活動をしている中で、CSOラーニング出身者と出会うことも多くなってきています。CSOラーニング制度の人材ネットワークが“プラットフォーム”へと成長してきていることを実感しながら、自分もその一員としていられることに感謝しています！



三宅 由惟さん (2016年度)

OB・OG会を通じて、多様な所属、経歴、視点を持った人が集まっているCSOラーニング制度の面白さを再確認しました。また、この会に参加したことで「これから行動を変えていきたい」、「縦のつながりを持ちたい」という目標を持った人に多く出会いました。制度修了後もCSOラーニング制度がアクションのきっかけを掴める場となっていることを実感し、これからもこのつながりを作っていく一人でありたいと思いました。



富沢 泰夫さん (環境財団OB・2002-2011)

在職中は、発展するCSOラーニングとよく言っていましたが、同窓会に参加して、修了した皆さん自身もさらに発展していることを知り、感銘しています。各々の立場で、環境ほか、いろいろな分野で、自分で考え行動しているのを聞き、この制度の意義を改めて認識でき、嬉しい限りです。「継続は力なり」とは言いますが、なかなかできることではありません。縦横のつながりが、これからも発展していくことを期待しています。



OB・OG アンケート分析

今回 OB・OG 会の開催に先立って、全修了生にメールでアンケート調査を実施しました。多くの修了生が様々な分野で活躍しています。また、仕事以外でも社会貢献活動に積極的に取り組んでいることがわかりました。

調査時期

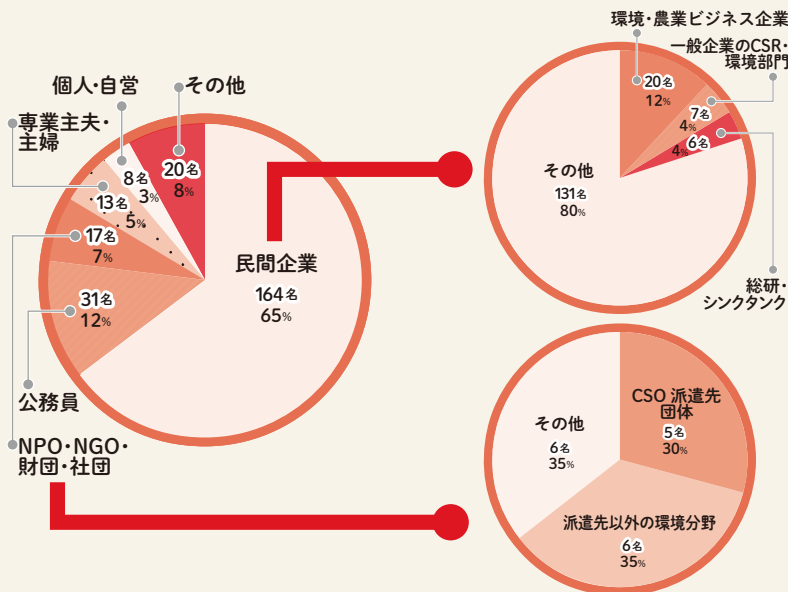
2017年12月

有効回答

253名

DATA 職業の分布

修了生は企業・公務員・NPO など様々な分野で活躍中



民間企業内訳

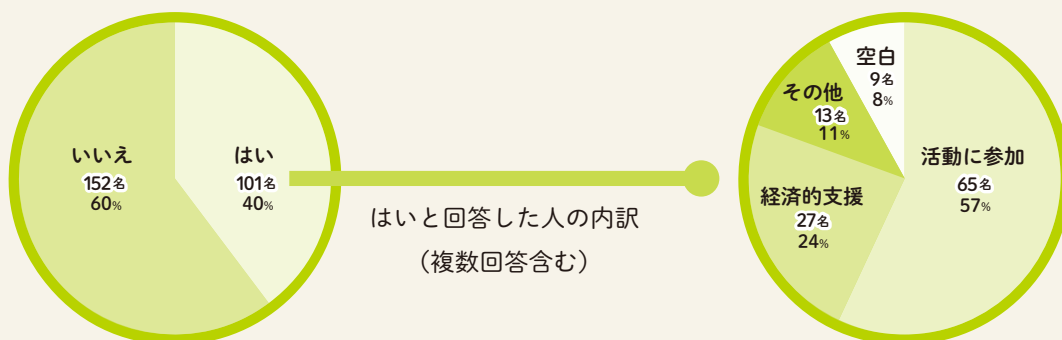
- 民間企業就業者のうち、5人に1人(20%)が環境関連企業や部署、シンクタンク等に所属している

非営利団体内訳

- OB・OGのうち7%が非営利組織に所属している
- そのうち5名は現在CSOラーニングの派遣先で就業

DATA 社会貢献活動

40%が何らかの社会貢献活動に従事している



「活動に参加」の具体例

- 環境講座にインタープリターとして参加
- 市民団体に再生可能エネルギー発電や里山保全活動
- 地域の子供達の自然体験活動の企画、運営
- 廃棄物処理問題を抱えている国の青少年の日本招致
- CSO先でのボランティア
- 視覚障害者のジョギング伴走
- 復興まちづくりや地域づくりの活動に参加

「経済的支援」の具体例

- CSO団体への寄付
- フェアトレード商品の購入
- 東北復興支援に毎月寄付
- 衣類の寄付
- 海外の孤児院のサポート

「その他」の具体例

- マイバックを持ち歩く
- 地場産野菜の購入
- エシカル商品の選択
- 環境配慮の商品



HISTORY -CSOラーニング制度のあゆみ-

2000年、関東地区12団体へ21名の派遣から始まったCSOラーニング制度。2017年には修了者1000名を超え、派遣先も関東、関西、愛知、宮城の4地区34団体にまで広がっています。損保ジャパン日本興亜環境財団は今後も「木を植える人を育てる」ために有意義なプログラムを提供できるよう努めてまいります。

年度	インターン 人数	団体数			
		関東	関西	愛知	宮城
2000	21	12	-	-	-
2001	21	11	4	-	-
2002	25	14	5	-	-
2003	50	15	7	-	-
2004	59	16	7	3	3
2005	83	14	9	4	4
2006	66	13	9	3	3
2007	69	15	10	4	3
2008	64	17	9	4	3
2009	69	20	11	5	4
2010	69	20	11	5	4
2011	64	22	11	2	3
2012	66	21	10	4	3
2013	57	21	7	4	3
2014	60	19	9	5	3
2015	59	17	8	5	3
2016	53	19	9	4	3
2017	59	17	9	5	3



2008

2007

2006

2005

2004

2003

2002

2001

2000



修了生
1000名
突破

2017

2016

2015

2014

2013

2012

2011

2010

2009

10th
Anniv.

CSOラーニング制度概要

応募資格	大学生及び大学院生（修士課程）
応募人数	関東 30 名、関西 20 名、愛知 10 名、宮城 10 名程度
選考方法	書類及び面接
応募方法・説明会日程	ホームページでご確認ください https://www.sjnkef.org/
活動期間	毎年 6 月から翌年 1 月までの 8 か月間（まとめの期間を含め全体は 3 月修了）
活動内容	NPO でのインターン、各地区での定例会（月 1 回）、全国合宿（年 2 回）など
奨学金	1 時間あたり 800 円 + 交通費を支給（奨学金は返済不要）
単位認定	大学で単位認定制度がある場合には、対象となる場合がある（奨学金と重複なし）
活動時間	上限時間の設定あり（200 時間）



Civil Society Organization

修了生 1000名突破記念

CSOラーニング制度 OB・OG会 記念誌

—みんな、もう一度木を植えてみないか?—



損保ジャパン日本興亜環境財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1

TEL: 03-3349-4614 FAX: 03-3348-8140

URL: <https://www.sjnkef.org/> Mail: office@sjnkef.org